

☑ 平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 ☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	監査委員活動経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	2	項	6	目	1	事業	2
担当部		担当課	監査委員事務局	担当係	監査係	係	作成者	星野 美代子	内線(電話番号)	3810	シート作成日	H30.5.30	部長決裁日	H30.6.5		
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)		根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 地方自治法, 地方公営企業法, 地方公共団体の財政の健全化に関する法律) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: 常総市監査委員条例, 常総市監査委員事務局規程, 常総市監査委員処務規定)													

2 事務事業の目的 ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	決算等審査は時期が固定され、時間が限られていることから、能率よく審査する必要があり、健全化判断比率・資金不足比率の審査については、かなり専門的な知識を要する。 その他の監査においても、職員数、時間に限りがあることから、効率よく監査をする必要がある。	誰・何を対象に 公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を実施し、もって、市の行政の適法性、効率及び妥当性の保証を期するものとする。	望ましい状態 決算等審査のための関係資料の提出を受けるにあたり、関係課に対し、事前に連絡する等、準備をしっかりと行い、専門的な知識については、自己研修及び財政課等関係課からの聞き取り説明を受ける状態。 また、監査内容を事前に十分検討し、計画を立て、早急に監査計画、実施日程表を作成する状態。
どのような方法・手順で	効果的かつ効率的に十分かつ適正な監査等の証拠を入手するため、実査、立会、確認、証憑突合、帳簿突合、計算突合、分析の手段、質問、観察、閲覧等の手法について、得られる証拠力の強弱や手順の容易性を勘案して、適宜これらを組み合わせる等により実施する。		

3 事務事業の主たる成果指標 ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	監査実施件数	単位	件	目標値	60	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	成果指標、目標値はこの事業にそぐわないが、監査実施件数とする。定期監査(所属所数)、工事監査(1件)、例月現金出納検査(毎月)、決算審査(1件)。住民監査に基づく監査は目標値に含めず実績に入れる。
-----	--------	----	---	-----	----	------	----------	-------------------------------------	--

4 事務事業の実績 ⑩ ☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度					
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量				
事務事業を構成する主な業務	① 定期監査の実施	22箇所	① 定期監査の実施	47箇所	① 定期監査の実施	35箇所				
	② 例月出納検査の実施	12回	② 例月出納検査の実施	12回	② 例月出納検査の実施	12回				
	③ 決算審査に係る意見書作成	1回	③ 決算審査に係る意見書作成	1回	③ 決算審査に係る意見書作成	1回				
	④ 工事監査の実施	2回	④ 工事監査の実施	1回	④ 工事監査の実施	1回				
	⑤ 茨城県都市監査委員会定期総会及び研修会への参加	1回	⑤ 茨城県都市監査委員会定期総会及び研修会への参加	1回	⑤ 茨城県都市監査委員会定期総会及び研修会への参加	1回				
	⑥ 関東都市監査委員会定期総会への参加	1回	⑥ 関東都市監査委員会定期総会への参加	1回	⑥ 全国都市監査委員会定期総会及び研修会への参加	1回				
	⑦ 茨城県西南地区職員事務研究会への参加	1回	⑦ 茨城県都市監査委員会初任者研修会への参加	1回	⑦ 茨城県都市監査委員会初任者研修会への参加	1回				
	⑧		⑧ 茨城県西南地区職員事務研究会への参加	2回	⑧ 関東都市監査委員会職員研修会への参加	1回				
	⑨		⑨ 茨城県都市監査委員会事務局長及び主務者会議への参加	2回	⑨ 茨城県西南地区職員事務研究会への参加	2回				
	⑩		⑩ 関東都市監査委員会職員研修会への参加	1回	⑩ 茨城県都市監査委員会事務局長及び主務者会議への参加	1回				
	⑪		⑪		⑪					
	⑫		⑫		⑫					
目標値に対する実績値		37 件	目標値に対する実績値		61 件	目標値に対する実績値		49 件		
決算額	計	1,853,330 円	内訳	特定財源	0 円	計	1,681,806 円	内訳	特定財源	0 円
				一般財源	1,853,330 円				一般財源	1,681,806 円
		(住民一人あたりの行政コスト)	30 円		(住民一人あたりの行政コスト)	28 円		(住民一人あたりの行政コスト)	28 円	

5 担当者評価 ㉔ ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	平成29年度は、全国公平委員会関東支部と茨城県公平委員会の事務局を持った為、監査においては、平成27年度の被害の際にできなかった部署の監査を行った。定期監査、例月出納検査、決算審査、工事監査ともに予定どおり遂行できた。
問題点			例月出納検査及び定期監査において、間違いや問題点を指摘し訂正をお願いしているところだが、全庁的に改善が見られない。

6 担当部長及び担当課長評価 ㉔ ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

地方自治法による監査であり、行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資するもので、必要不可欠である。

7 実施計画 ㉔ ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●定期監査の実施(46箇所予定) ●例月出納検査の実施(12回) ●決算審査に係る意見書作成 ●工事監査の実施(1回) ●全国都市監査委員会定期総会及び研修会への参加(1回) ●関東都市監査委員会定期総会への参加(1回) ●茨城県都市監査委員会定期総会及び研修会への参加(1回) ●茨城県都市監査委員会初任者研修会への参加(1回) ●茨城県西南地区職員事務研究会への参加(2回) ●茨城県都市監査委員会事務局長及び主務者会議への参加(1回) 		<ul style="list-style-type: none"> ●定期監査の実施 ●例月出納検査の実施(12回) ●決算審査に係る意見書作成 ●工事監査の実施(1回) ●全国都市監査委員会定期総会及び研修会への参加(1回) ●関東都市監査委員会定期総会への参加(1回) ●茨城県都市監査委員会定期総会及び研修会への参加(1回) ●茨城県都市監査委員会初任者研修会への参加(1回) ●茨城県西南地区職員事務研究会への参加(2回) ●茨城県都市監査委員会事務局長及び主務者会議への参加(1回) 		<ul style="list-style-type: none"> ●定期監査の実施 ●例月出納検査の実施(12回) ●決算審査に係る意見書作成 ●工事監査の実施(1回) ●全国都市監査委員会定期総会及び研修会への参加(1回) ●関東都市監査委員会定期総会への参加(1回) ●茨城県都市監査委員会定期総会及び研修会への参加(1回) ●茨城県都市監査委員会初任者研修会への参加(1回) ●茨城県西南地区職員事務研究会への参加(2回) ●茨城県都市監査委員会事務局長及び主務者会議への参加(1回) 		
	予算額	歳出	計	1,941 千円	歳出	計	1,941 千円
			特定財源	千円		特定財源	千円
		歳入	一般財源	1,941 千円	歳入	一般財源	1,941 千円
	計	1,941 千円		計	1,941 千円		

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、「例月出納検査及び定期監査において、間違いや問題点を指摘し訂正をお願いしているところだが、全庁的に改善が見られない。」とはいささか問題である。監査は公正で適正な行政運営確保のため実施されるものであり、的確に指摘・指導するものとする。現行どおりとしたが、公正で合理的かつ適正な監査業務を実現するためには、必要に応じた改善策も検討するべきである。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉔

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

地方自治法に基づくものであり、行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与しているため、工事監査を含めて、改善策を講じながら継続的に合理的かつ適正な監査業務を遂行していく。

11 事務事業の改善理由 ㉔ ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

監査委員及び事務職員は、研修等に積極的に参加することで、的確な指摘・指導力を習得し、公平・公正な監査を実施するよう努力する。